

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道191号 下 関北バイパス <small>しものせききた</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県下 関市筋川町 <small>しものせき すじかわちよう</small> 至：山口県下 関市安岡駅前二丁目 <small>しものせき やすおかえきまえ</small>	延長	6.8 km		
事業概要	<p>一般国道191号は、山口県下 関市から広島県広島市に至る延長約290kmの主要幹線道路である。</p> <p>下 関北バイパスは、朝夕の渋滞の解消や交通安全の確保、広域交通ネットワーク形成による観光地へのアクセス性の向上等を目的とした延長約6.8kmのバイパスである。</p>				
H2年度事業化	H2年度都市計画決定	H5年度用地着手	H9年度工事着手		
全体事業費	約670億円	事業進捗率 (H23年度末現在)	77%	供用済延長	2.1 km
計画交通量	19,600 ~ 31,600 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C : (3便益) (事業全体) 1.5 (残事業) 8.5	総費用 : (残事業)/ (事業全体) 139/805億円 (事業費 : 111/772億円) (維持管理費 : 29/33億円)	総便益 : (残事業)/ (事業全体) 1,180/1,201億円 (走行時間短縮便益 : 927/940億円) (走行費用減少便益 : 160/164億円) (交通事故減少便益 : 94/97億円)	基準年 平成24年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量 : B/C=1.3~1.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=7.5~9.4 (交通量±10%) 事業費 : B/C=1.5~1.5 (事業費±10%) 事業費 : B/C=7.8~9.2 (事業費±10%) 事業期間 : B/C=1.4~1.6 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=8.2~8.8 (事業期間±20%)</p>				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる【9,767千人・時間/年⇒8,219千人・時間/年 (15.8%削減)】 ・現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される 【下関市山の田交差点～綾羅木駅前交差点間 : 18.5km/h⇒27.7km/h】 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【筋川・武久・北浦方面 上り36便/日、下り37便/日】 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる 【下関市豊北町～長州出島 (下関沖合人口島) : 58分⇒51分】 ・下関市豊北町からの水産品の流通利便性向上が見込まれる <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する【山口県広域道路網マスタープラン】 <p>④国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上【下関市豊北町～下関市役所 : 73分⇒62分】 <p>⑤個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川棚温泉 (H23年間観光入込客数約28万人)、しおかぜの里角島 (H23年間観光入込客数約23万人) へのアクセス向上 <p>⑥安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる 【綾羅木駅前交差点 : 543.4件/億台キロ 等】 <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県の第1次緊急輸送道路に指定 (一般国道191号) <p>⑧地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出削減量が約5.0千t/年【449.4千t/年⇒444.4千t/年】 <p>⑨生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出削減量が約12.8t/年 (約1.1%) 削減【1,151.7t/年⇒1,138.9t/年】 ・SPM排出削減量が約0.8t/年 (約1.3%) 削減【61.0t/年⇒60.2t/年】 <p>⑩他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関市総合計画 (H19年3月) において広域交通連絡網としての整備と位置づけられている 				

⑪環境への配慮を考慮した効果

・約5.0千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【2.7億円※】

⑫交通事故件数の削減

・交通事故件数が約7%削減【1,292.2件/年⇒1,201.7件/年】

※供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）

他3項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

下関北バイパスは、慢性的な渋滞の解消や交通事故対策をはじめ、地域を支え、救急活動に不可欠な道路として重要な役割を果たすことが期待されており、下関市長等から構成される「下関市一般国道191号建設整備促進期成同盟会」により、早期整備の要望を受けている。

山口県知事の意見：

異存なし。

平成26年度の供用に向け、コスト縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

国道191号（下関市筋川町～同市安岡駅前二丁目）の沿線地域は住居及び商業等の市街化区域に指定されており、沿道利用などから交通混雑、交通事故が引き続き多発している。

近年では沿線地域での区画整理事業等の開発が進められ、朝夕の渋滞や交通事故への対応ニーズが高まっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成23年度末現在で用地買収は約97%完了しており、現在までに現道拡幅区間1.0km及び下関市汐入町から同市武久町までのバイパス区間1.1kmを暫定2車線で供用済みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、H26年度の供用を予定している。

施設の構造や工法の変更等

橋梁延長の短縮等によりコスト縮減を図っている。

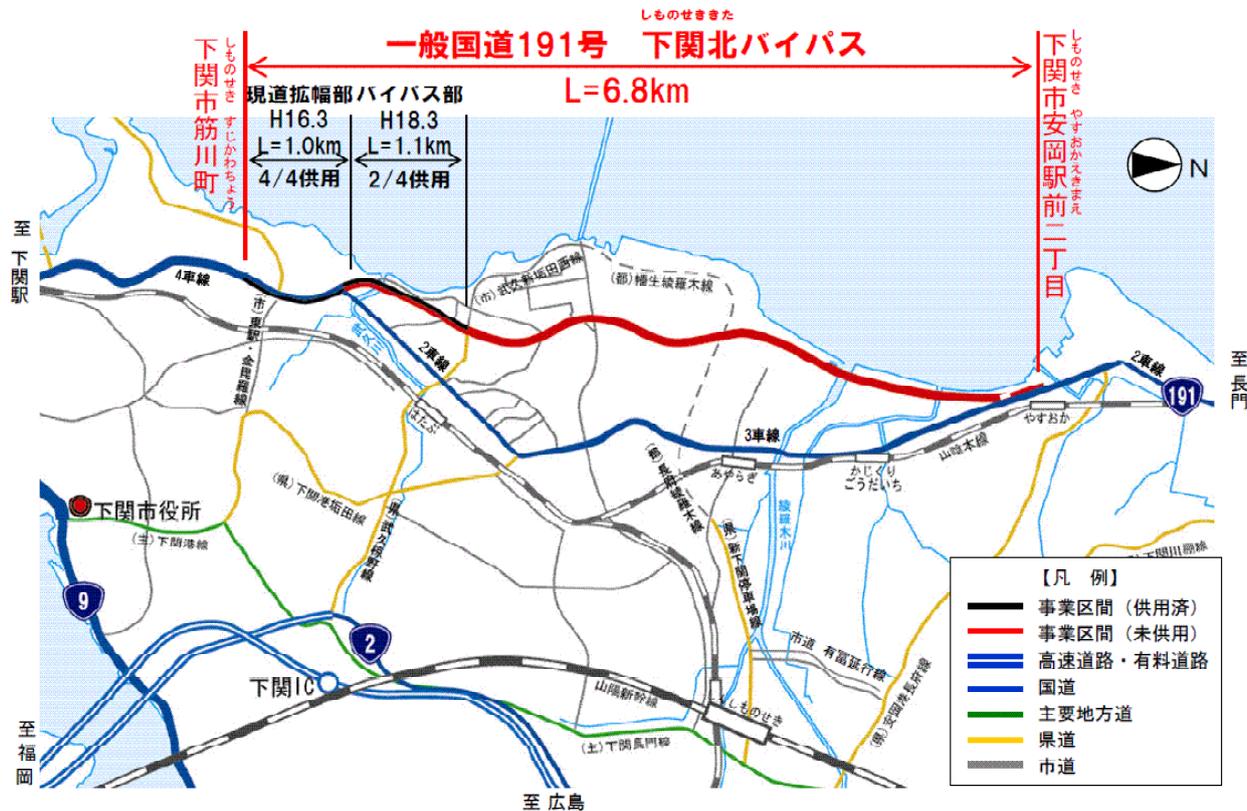
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

しものせきた
一般国道191号 下関北バイパス
事業再評価

平成24年12月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道191号 下関北バイパス

しものせききた

- 一般国道191号は、山口県下関市から広島県広島市に至る延長約290kmの主要幹線道路である。
- 下関北バイパスは、山口県下関市筋川町～下関市安岡駅前二丁目に至る延長6.8kmのバイパス事業である。

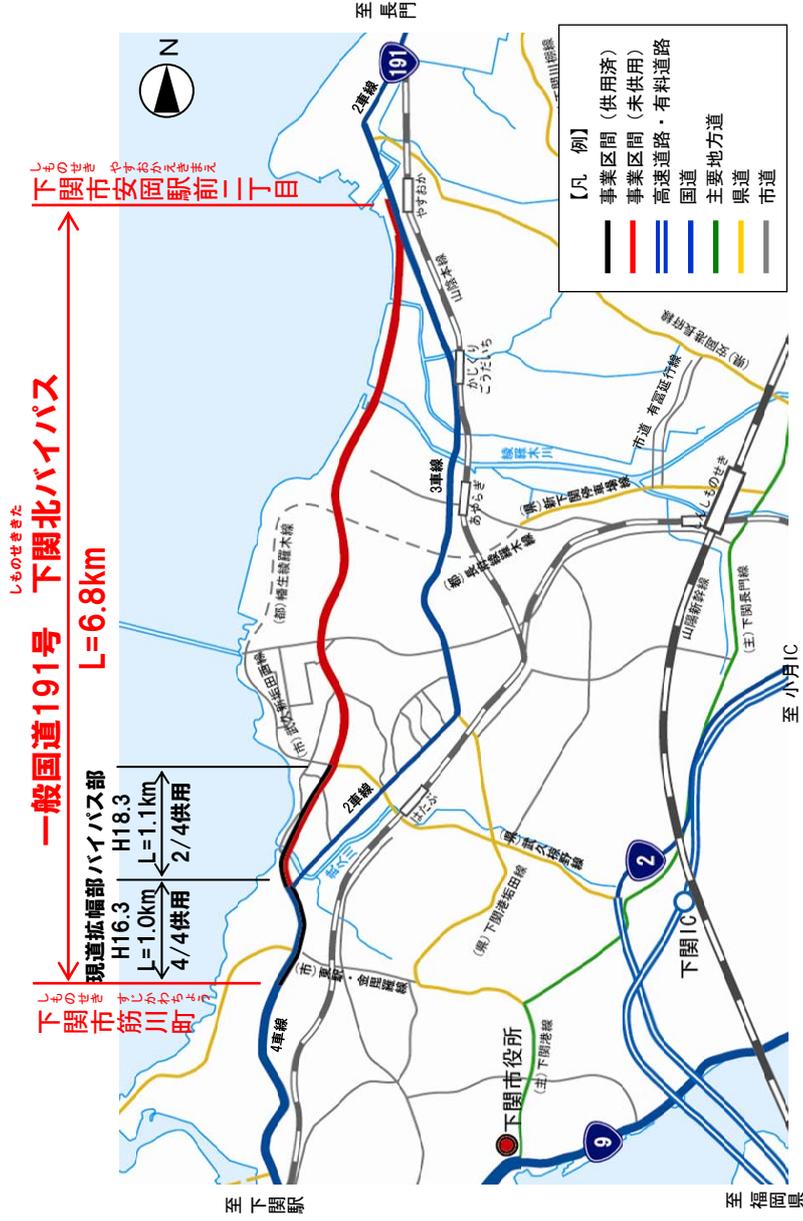


2. 事業概要及び経緯

一般国道191号 下関北バイパス

(1) 事業概要

一般国道191号下関北バイパスは、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的とした延長6.8kmの道路である。

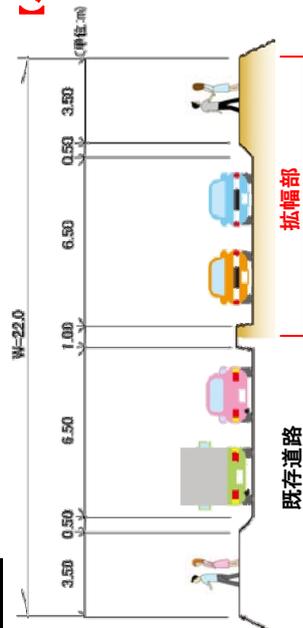


計画概要

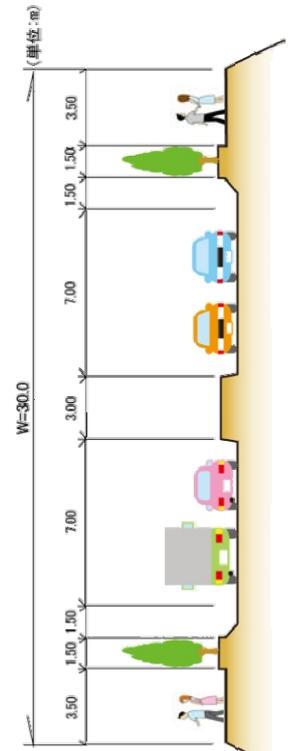
起終点	(起点) 下関市筋川町 (終点) 下関市安岡駅前二丁目
計画延長	L = 6.8km
道路規格	バイパス部 第3種1級 現道拡幅部 第4種1級
設計速度	バイパス部 V = 80km/h 現道拡幅部 V = 60km/h
車線数	4車線

標準断面図

【現道拡幅部】



【バイパス部】

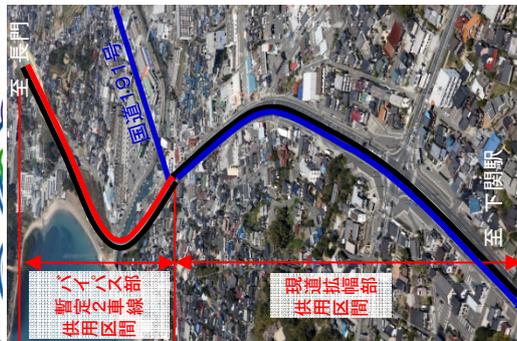


2. 事業概要及び経緯

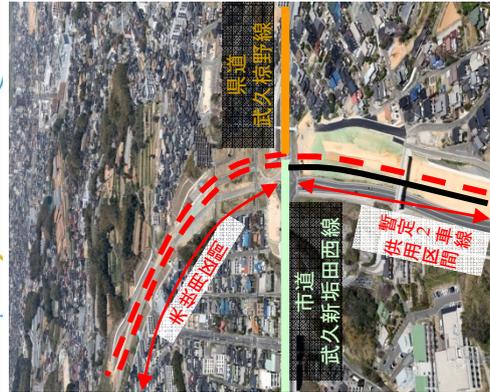
一般国道191号 下関北バイパス

(3) 事業の進捗状況

- ・平成17年度までに筋川町から県道武久棕野線までの2.1kmを現道拡幅及びバイパス整備を行い暫定供用している。
- ・用地買収は平成23年度末現在で97%完了し、平成26年度の全線供用を目指し工事を推進している。



《【写真1】金比羅交差点付近から長門方面を望む》



《【写真2】下関北バイパスと県道武久棕野線の交差点を望む》



《【写真3】綾羅木町付近から長門方面を望む》

3. 前回評価時からの主な周辺状況の変化 一般国道191号 下関北バイパス

・新下関駅西側の土地区画整理事業の完了に伴う商業施設群の立地や道路ネットワークの整備が進行中。
 ・事業区間周辺の川中支所管内では、宅地開発等が進み人口が増加傾向。

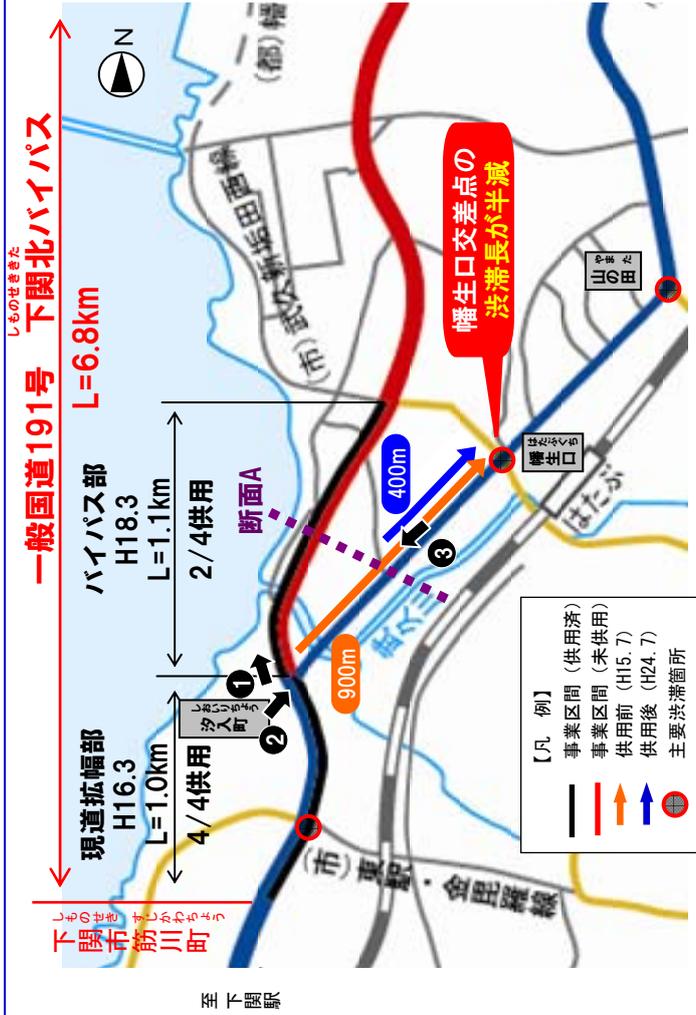


4. これまでの供用による効果

(1) 現道からの交通の転換

・H18年3月の部分供用により下り方向では現道の交通が約1割減少し、幅生口交差点を先頭とする渋滞が緩和した。

しものせききた 一般国道191号 下関北バイパス



【写真 1】下関北バイパスの部分供用区間(バイパス部)
 《汐入町交差点付近から長門方面を望む》

(資料: 渋滞長調査結果 バイパス供用前: H15.7、バイパス供用後: H24.7)
 ※平日調査、タピーク17~19時



▲ 下関市汐入町周辺の状況【写真 2】
 《下関市方面から長門方面を望む》

▲ 下関市武久町周辺の状況【写真 3】
 《長門方面から下関市方面を望む》

◆断面交通量の変化(断面A下り方向)



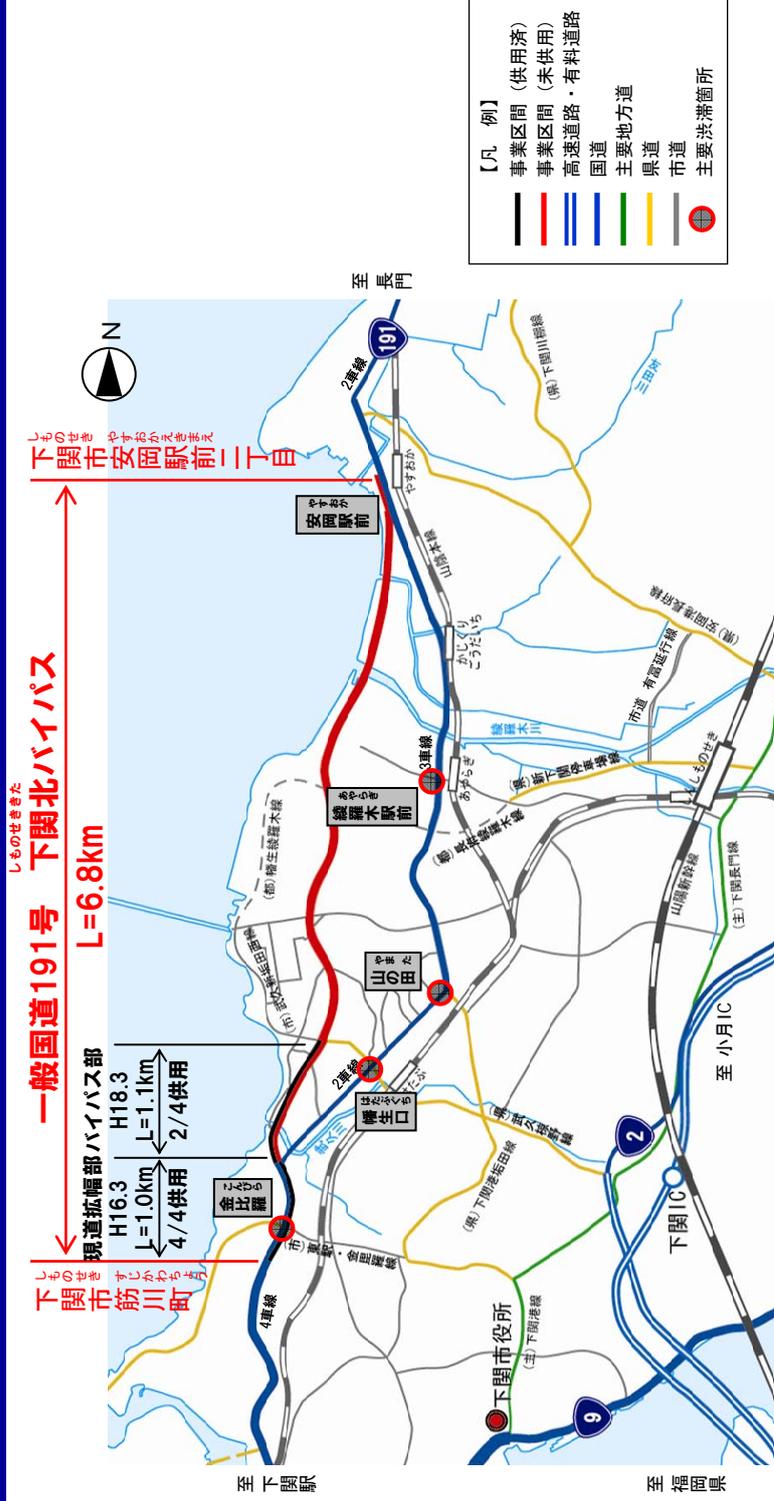
(資料: 交通量調査結果 (H15.7、H24.7))

5. 地域から期待される道路の役割(効果)

しものせききた

一般国道191号

下関北バイパス



課題①：国道191号で発生する渋滞

- <期待される道路の役割>
- ⇒ 損失時間の削減
- ⇒ 渋滞緩和による観光活性化

課題②：渋滞により生活道路に流入する通過交通

- <期待される道路の役割>
- ⇒ 生活道路への通過交通の減少

課題③：国道191号沿線で多発する交通事故

- <期待される道路の役割>
- ⇒ 交通事故件数の削減

課題④：救急活動の支援

- <期待される道路の役割>
- ⇒ 搬送時間の短縮による救急活動の迅速化

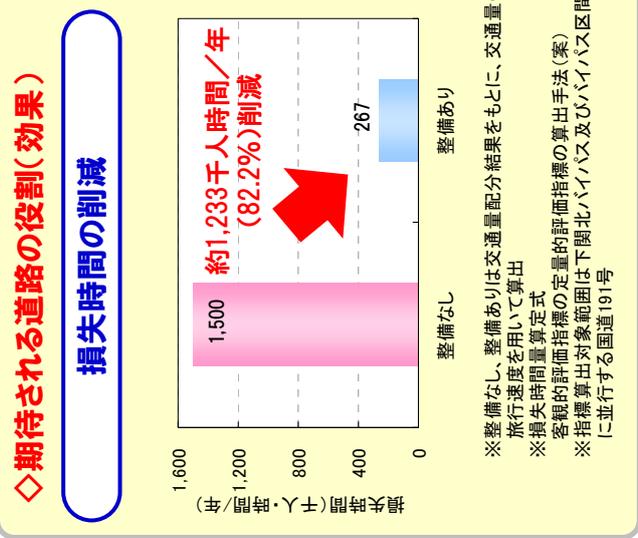
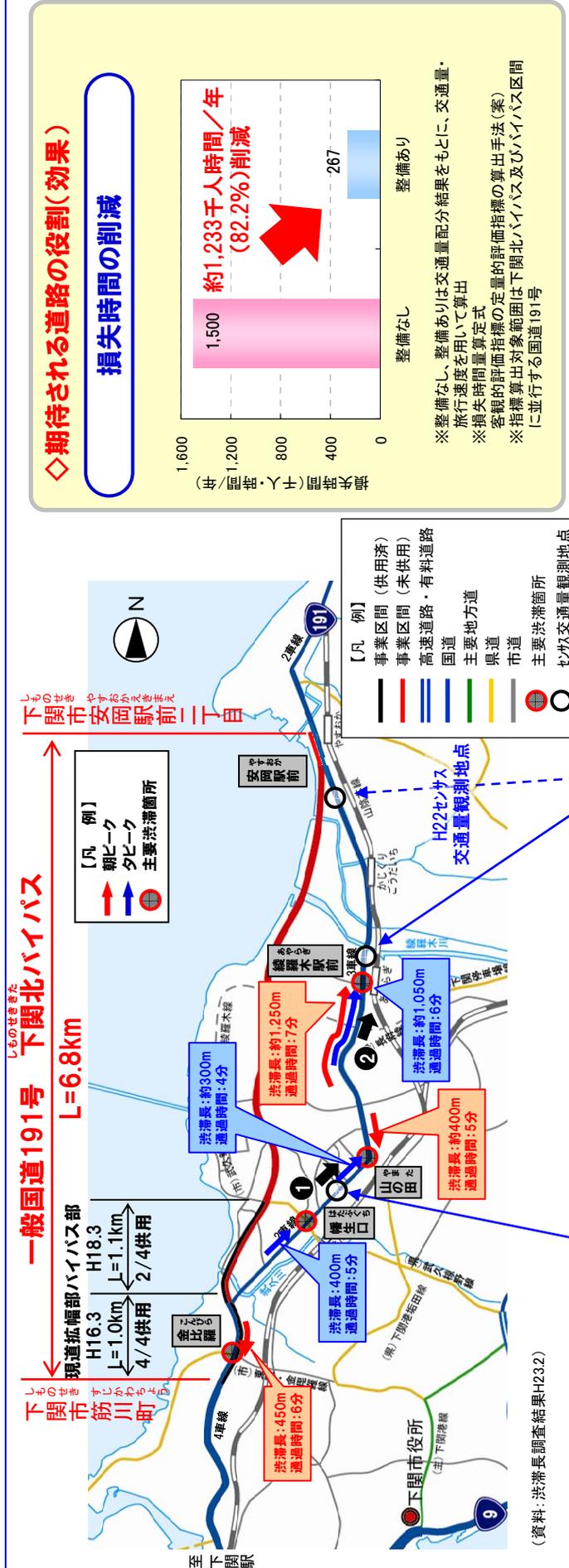
課題⑤：円滑な物流ネットワークの形成

- <期待される道路の役割>
- ⇒ 搬送時間の短縮による物流活動の効率化

4. 地域から期待される道路の役割(効果) 一般国道191号 下関北バイパス

課題①ー1: 国道191号で発生する渋滞

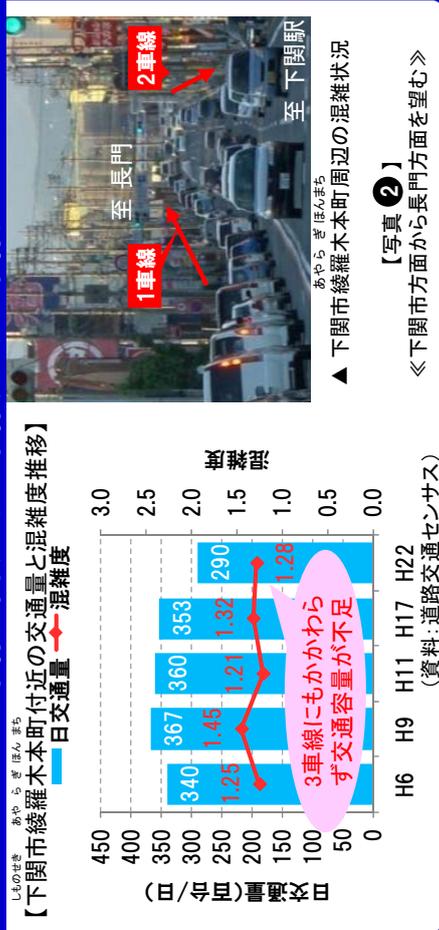
- ・国道191号の交通量は3万台/日前後を推移し、片側1車線の区間では混雑度が2を超える状況にある。
- ・朝・夕ピーク時には主要交差点で渋滞が発生し、特に綾羅木駅前交差点を先頭に1kmを超える渋滞が発生している。



2車線区間



3車線区間(上り:2車線、下り:1車線)



5. 地域から期待される道路の役割(効果) 一般国道191号 下関北バイパス

課題①ー2: 国道191号で発生する渋滞(海水浴シーズン)

- 下関市北西部には海水浴場や川棚温泉、角島灯台公園などの観光地があり、九州方面からの観光客が約6割を占めている。
- 海水浴シーズンは海水浴及び観光目的の交通が国道191号に集中し、綾羅木駅前交差点を先頭に2kmを超える渋滞が発生している。

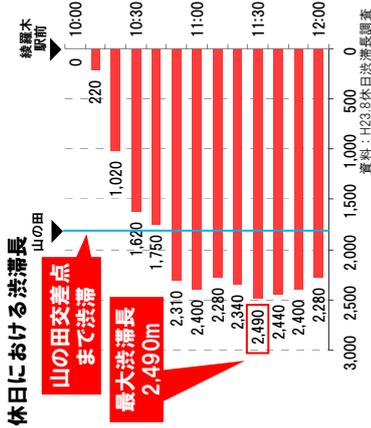
◆ 下関市西部の主要な観光地



◆ 交通渋滞の状況(観光シーズン)



◆ 休日における渋滞長



《写真①》観光シーズンの渋滞》

◆ 地域の声

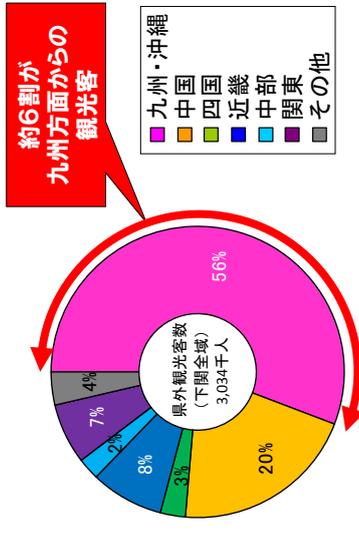
- 観光シーズンの国道191号は大渋滞が発生しており、移動時間がかかるため、北部地域へのアクセス性が悪いです。
- 「道の駅 豊北」の開業による、角島方面への観光客の増加を期待しています。

(H23.11下関市観光協会ヒアリング調査)

◇ 期待される道路の役割(効果)



◆ 県外観光客の出発地



▲ 県外観光客数の出発地 (下関市全域) (資料: 山口県統計年鑑 (H22年度))

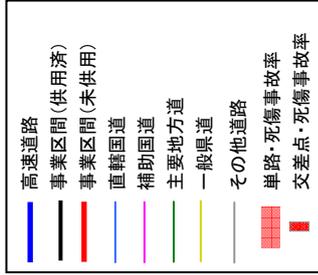
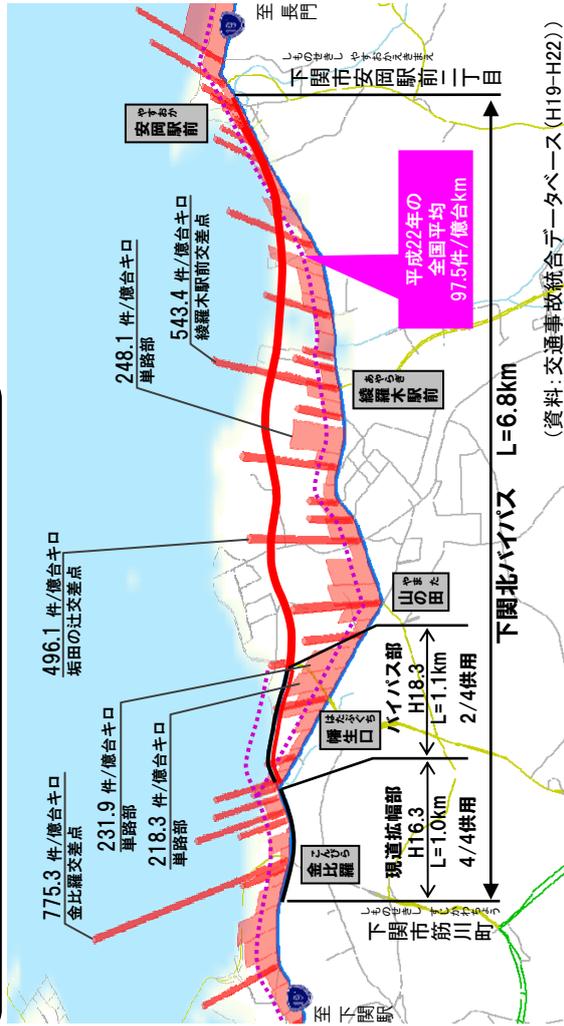
5. 地域から期待される道路の役割(効果) — 一般国道191号 下関北バイパス

しものせきた

課題③：国道191号沿線でも発する交通事故

- ・交差点や沿道施設への右左折事故及び停止車両への追突事故が多く、全国平均を超える死傷事故が発生している。
- ・下関北バイパスの整備により、交通事故件数の削減が期待される。

◆国道191号の事故発生状況



▲ 国道191号から沿道への右折状況

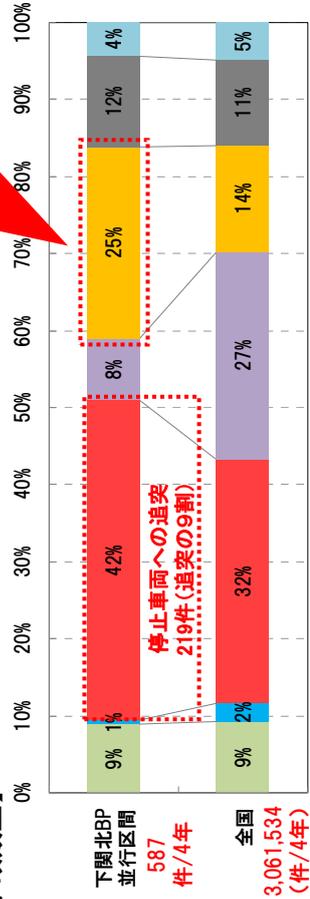
◆地域の声

- ・国道191号は地域の主要な生活道路であり、交通量が多く、慢性的な渋滞が発生しています。
- ・渋滞待ちのイライラ感から追突事故が多く、国道191号沿いに集中しています。
- ・沿道にある沿道施設への出入りやバスベイがない区間で追い越しが困難であるため、無理な運転をする車両が多く、危険な状況です。

(H23.10 警察署ヒアリング調査)

◆国道191号筋川町～安岡駅前間の交通事故特性

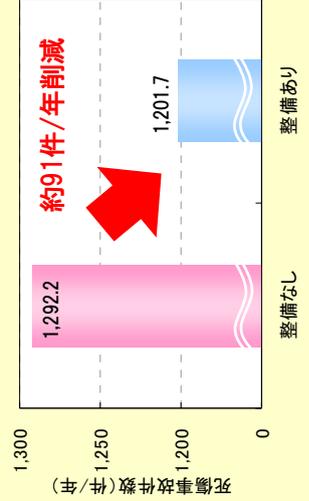
【事故類型】



(資料：交通事故統計データベース(H19-H22)、交通統計 平成23年度版(TARDA刊行))

◇期待される道路の役割(効果)

死傷事故件数の削減



※交通量配分結果をもとに、下関北バイパスの整備有無の各ケース交通量を用いて算出
 ※人身事故件数算定式：交通事故減少便益の原単位の算出方法(H20年11月 国土交通省)
 ※指標算出対象範囲は費用便益分析対象範囲と同じ

5. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道191号 下関北バイパス

しものせきた

課題④：救急活動の支援

- 主要な搬送経路である国道191号の交通渋滞により、搬送時間の増加など救急活動に支障が生じている。
- 下関北バイパスの整備により経路の選択性が向上し、搬送時間の短縮により救急活動の効率化が期待される。
- また、中央消防署からの応援時にも、下関北バイパスを利用した現場到着時間および搬送時間の短縮が期待される。

◆下関北消防署の救急搬送ルートおよび他消防署からの応援出場ルート



【凡 例】

北消防署管内の主要搬送経路

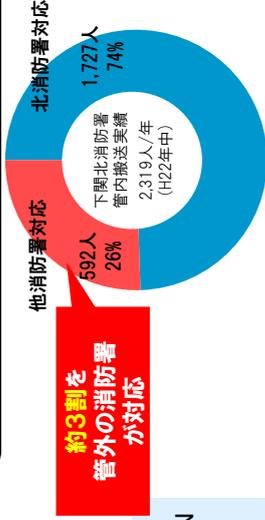
下関北消防署の管轄エリア

主要渋滞箇所

◆地域の声

- 国道191号は主要搬送経路であり、交通渋滞で追い越しが困難なため、病院到着が遅れています。
 - 帰署する時間も遅れるため、救急車両の不在時は他消防署が対応せざるを得ない状況です。
 - 下関北バイパスが整備されることで、搬送時間の短縮や搬送経路としての選択肢が増加、さらには救急車両の帰署時間の短縮に期待しています。
- (H23.10 下関北消防署ヒアリング調査)

◆下関北消防署管内の搬送対応状況



▲北消防署管内の搬送実績

- ◆下関北消防署管内の下関厚生病院への搬送実績
搬送人数: 355人/年 (H22年中)
うち、安岡・吉見地区: 93人/年 (H22年中)
- ◆旧下関市内の救急医療は関門医療センター、下関市立病院、下関厚生病院、済生会下関総合病院の4病院が輪番制(24h)で救急患者を受け入れている。(H8山口県保険医療計画)

(資料: H23.10下関市消防局アンケート調査結果)

◇期待される道路の役割(効果)

【現況】

約10分

【整備後】

約8分

現況: 規制速度(50km/h)を用いて算出
整備後: 国道191号は規制速度(50km/h)
下関北バイパスは60km/hとして算出

安岡駅前交差点

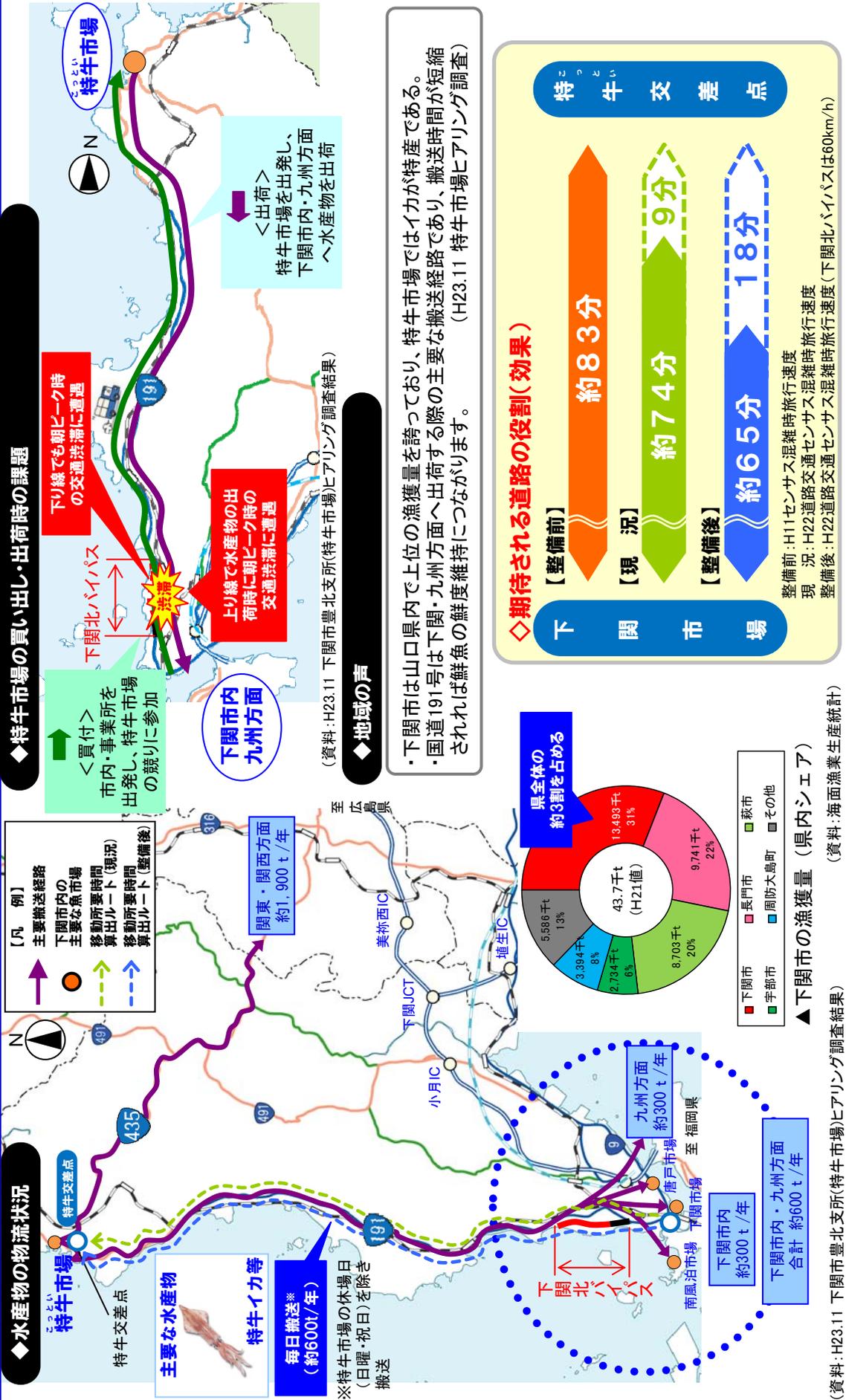
下関厚生病院

5. 地域から期待される道路の役割(効果) — 一般国道191号 下関北バイパス

しものせきた

課題⑤:円滑な物流ネットワークの形成

- ・国道191号は特牛市場で取引された水産物を下関市内・九州方面へ搬送する主要な搬送経路であり、毎日利用されている。(年間約600t)
- ・買付時、出荷時の移動が国道191号の渋滞と重なり時間を要している。
- ・下関北バイパスの整備により物流活動の効率化が期待される。



6. コスト縮減に関する取り組み

■ コスト縮減の取り組み

項目	内容	縮減額
残土処理	他事業協議により、残土処分受入が可能となったことによる、 残土処理費の削減	4.1億円
擁壁	新技術採用による擁壁構造の変更	4.5億円
函渠仮設工法	仮設工法の変更	3.7億円
橋梁	橋梁延長の短縮等	37.7億円
合計		50.0億円

6. コスト縮減に関する取り組み

しものせきた
一般国道191号 下関北バイパス

「擁壁」新技術採用による擁壁構造の変更

項目	内容	縮減額
擁壁工	現場打ち擁壁から新技術である補強土壁（スーパーテールアルメ工法）の採用による削減	4.5億円

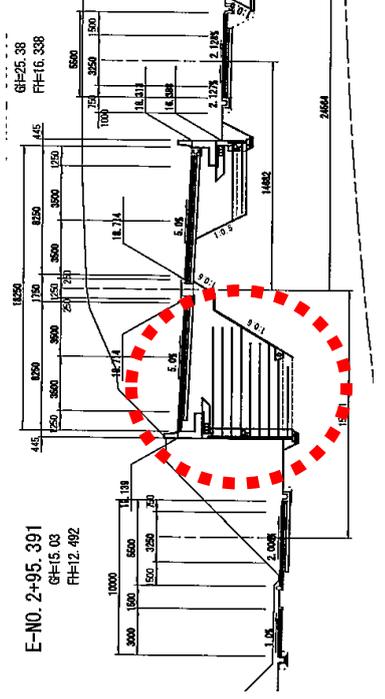
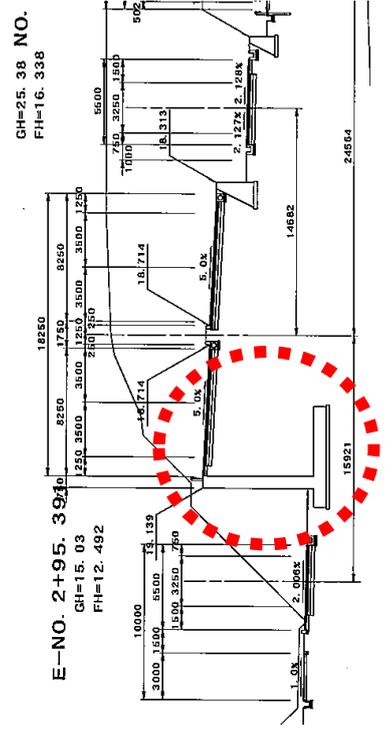
当初

逆T型擁壁工法



変更後

スーパーテールアルメ工法（補強土壁）



6. コスト縮減に関する取り組み

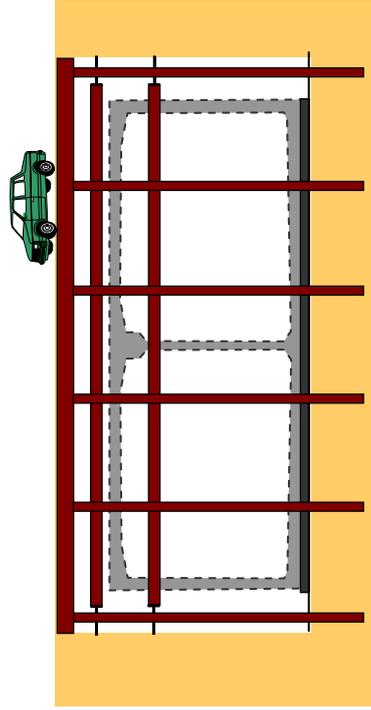
しものせきた
一般国道191号 下関北バイパス

「函渠仮設工法」大規模仮設を伴わない工法への変更

項目	内容	縮減額
函渠仮設工法	関係者協議により、道路の切回し施工が可能となったことによる仮設費削減	3.7億円

当初

土留+覆工板による仮設施工

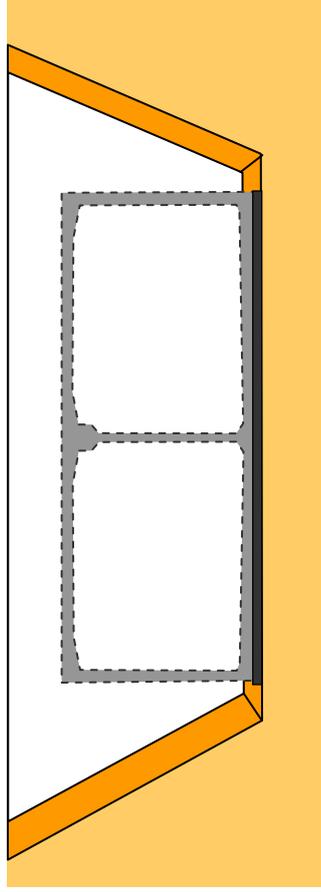


周辺エリアが
使用可能

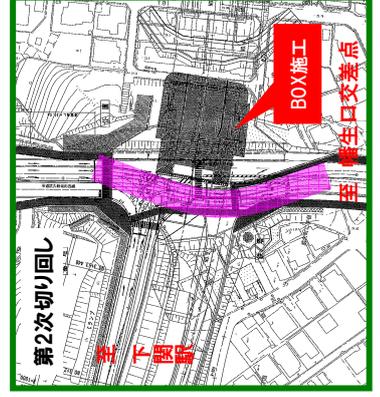


変更後

切回しによる仮設施工



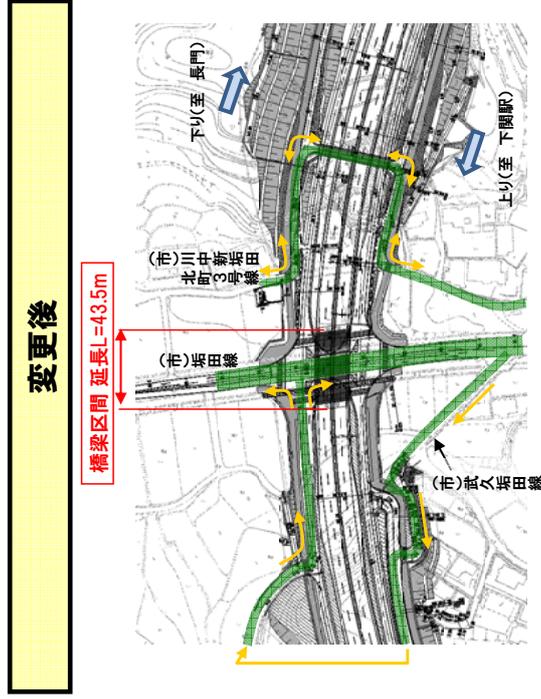
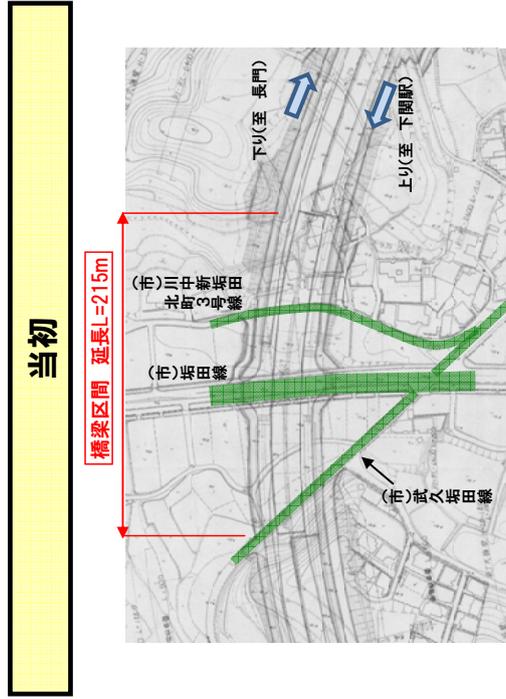
平面図の一例



6. コスト縮減に関する取り組み

「橋梁」橋梁延長の短縮 等

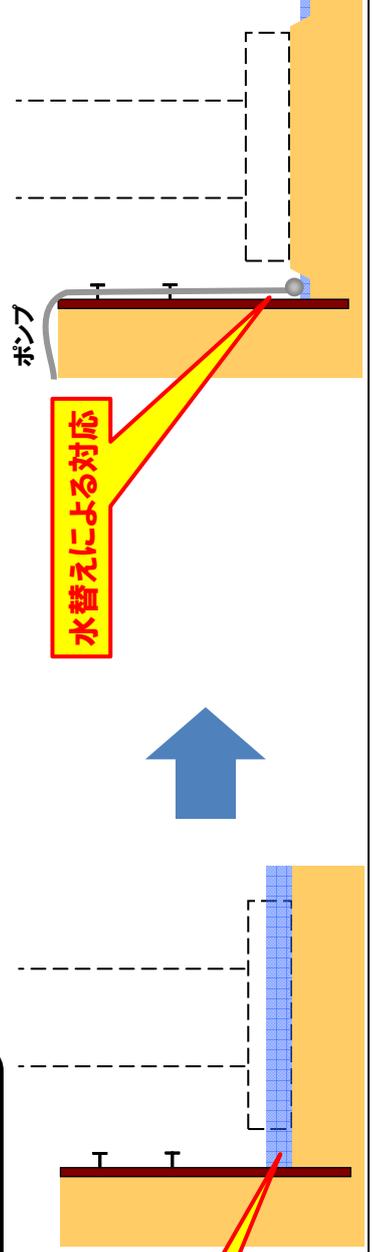
項目	内容	縮減額
橋梁	地元協議等により、現況市道の機能復旧について側道を活用した集約へ協力がいただけたことにより橋梁延長が短縮 等	37.7億円



◆湧水による水替えの追加（コスト増加の要因）

想定よりも
浅い地下水位により、
施工に支障

水替えによる対応



7. 事業の効果

一般国道191号 下関北バイパス

しものせきた

・地域からの要望を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆投資効果

項目	全体事業	残事業
費用 (C)	805	139
事業費	772	111
維持管理費	33	29
便益額 (B)	1,201	1,180
走行時間短縮便益	940	927
走行経費減少便益	164	160
交通事故減少便益	97	94
費用便益比	1.5	8.5

(億円)

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

- ①環境の影響を考慮した効果[例] 約5.0千トン/年のCO₂削減][+約2.7億円]※1、※2
下関北バイパス整備に伴う速度向上による地球環境(CO₂)の改善効果を算出
- ②救急活動の支援[例]安岡駅前交差点から下関厚生病院までの所要時間短縮 約2分(約10分→約8分)]
- ③物流ネットワークの確保[例]特牛交差点から下関市場までの所要時間短縮 約18分(約83分→約65分)]
- ④沿道環境の改善[例]NOx排出量約12.8/年(約1.1%削減)、SPM排出量約0.8t/年(約1.3%削減)]※2

※1【 】は、供用後50年間の便益額として試算した結果(参考値)
※2 下関北バイパスの供用に影響を受けるエリアを対象に算定

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	3便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
参考① (3便益)	19,600台/日~31,600台/日	約670億円	805億円	1,201億円	1.5 (8.5)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	19,600台/日~31,600台/日	約670億円	805億円	1,201億円+α	—

※基準年：H24年

8. 今後の対応方針

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇国道191号(下関市筋川町～安岡駅前二丁目)の沿線地域は住居及び商業等の市街化区域に指定されており、沿道利用などから交通混雑、交通事故が引き続き多発している。
- ◇近年では沿線地域での区画整理事業等の開発が進められ、朝夕の渋滞や交通事故への対応ニーズが高まっている。

2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)=1.5(事業全体) 8.5(残事業)
- ◇道路の役割
 - ①環境の影響を考慮した効果[例] 約5.0千トン/年のCO2削減【+約2.7億円】※1、※2
 - ②救急活動の支援[例] 安岡駅前交差点から下関厚生病院までの所要時間短縮 約2分(約10分→約8分)
 - ③物流ネットワークの確保[例] 特牛交差点から下関市場までの所要時間短縮 約18分(約83分→約65分)
 - ④沿道環境の改善[例] NOx排出量約12.8/年(約1.1%削減)、SPM排出量約0.8t/年(約1.3%削減)※2

3) 事業の進捗状況

※1【】は、供用後50年間の便益額として試算した結果(参考値)、※2 下関北バイパスの供用に影響を受けるエリアを対象に算定

- ◇平成23年度末で用地買収は約97%が完了しており、現在までに現道拡幅区間の1.0km及び汐入町から武久町までのバイパス区間1.1kmを暫定2車線で供用済みである。

②事業の進捗見込み

- ◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成26年度の供用を予定している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇橋梁延長の短縮等により、コスト縮減を図っている。

2. 県への意見照会結果

◇山口県知事の意見：

異存なし。

平成26年度の供用に向け、コスト縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

◆下関北バイパス 前回評価時との比較

	前回評価時 (平成21年度)	今回評価 (平成24年度)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=6.8km	L=6.8km	
計画交通量	21,300～32,800台/日	19,600～31,600台/日	<ul style="list-style-type: none"> ・推計モデル及び将来フレームを統一(H22年度) ・ネットワーク設定の見直し(現況に加え事業化済み箇所を考慮)
総事業費	約720億円	約670億円	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁延長の短縮 ・新技術採用による擁壁構造の変更 ・残土処理費の削減 等によるコスト縮減
総費用 (C)	778億円	805億円	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年の変更(H21基準からH24基準)
総便益 (B)	1,048億円	1,201億円	<ul style="list-style-type: none"> ・推計モデル及び将来フレームを統一(H22年度) ・ネットワーク設定の見直し(現況に加え事業化済み箇所を考慮) ・基準年の変更(H21基準からH24基準)
費用対効果 (B/C)	1.3	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・総費用及び総便益を見直したため

一般国道191号 下関北バイパス
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道191号 下関北バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指標	指標子エックの根拠
前提条件	<p>事業の効率性</p> <p>■ 便益が費用を上回っている</p>	<p>全事業 費用便益比 (B/C) = 1.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 386億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.6%)</p> <p>残事業 費用便益比 (B/C) = 8.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 1,041億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 44.2%)</p>

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標子エックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<p>● 現運等の年間渋滞損失時間及び削減率</p> <p>■ 現運等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</p> <p>□ 現運又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</p> <p>■ 現運等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</p> <p>□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</p>	<p>区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失削減時間: 1,548千人・時間/年 (9,767千人・時間/年⇒8,219千人・時間/年)</p> <p>区間b (当該区間/並行区間) について: 一般国道191号下関北バイパスおよび並行現運区間 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減 (現況): 755千人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率: 82.2%削減 (1,500千人・時間/年⇒267千人・時間/年)</p> <p>対象区間 (下関市山の田交差点～綾羅木駅前交差点間)、改善見込み (旅行速度18.5km/h⇒27.7km/h) 等</p>
物流効率化の支援	<p>■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>■ 農林水産を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上</p> <p>□ 現運等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</p>	<p>改善見込み: 豊浦総合支所～長州出島 (下関沖合人工島) 35分⇒28分、豊北総合支所～長州出島 (下関沖合人工島) 58分⇒51分</p> <p>農林水産を主体とする地域名: 下関市豊北町、下関市、九州地方 (特牛イカ等)</p>

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標数エックの概観
1. 活力	都市の再生	指標数エックの概観
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する 	計画名：山口県広域道路網マスタープラン、計画策定主体：山口県 計画における位置付け等：交流促進型の広域道路
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内の事業である 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する 	都市計画道路網密度の変化 (1.73km/km ² ⇒1.78km/km ²)
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は10ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる 	
国土・地域ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自導道(A路線)としての位置づけ有り 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり 	地域高規格道路 下関西道路(計画路線)として位置づけられている
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる 	対象自治体名(旧豊浦町、(旧豊北町(旧17合併))、日常活動圏中心都市(下関市) 改善見込み 73分⇒62分 (下関市役所～豊北総合支所)
個性ある地域の形成	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される 	川棚温泉(H23入込観光客数 約28万人)、しおかぜの里角島(H23入込観光客数 約23万人)
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である 	
2. 暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 歩行者・自転車間のための生活空間の形成 	
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される 	

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標子エックの相対
2. 暮らし 無電柱による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	指標子エックの相対
3. 安全 安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線路不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される <input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくはは架橋の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	500件/億台キロ以上である区間・箇所（綾羅本町町交差点：543.4件/億台キロ） 見込まれる交通量の減少（国道191号：最大46百台/日） 山口県の第一次緊急輸送道路に指定（一般国道191号）
4. 環境 地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要制限度を超過している区間について、新たに要制限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	CO2排出削減量：約5.0千t/年（整備なし：449.4千t/年⇒整備あり：444.4千t/年・・・約1.1%削減） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：約12.8t/年（整備なし：1,151.7t/年⇒整備あり：1,138.9t/年・・・約1.1%削減） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：約0.8t/年（整備なし：61.0t/年⇒整備あり：60.2t/年・・・約1.3%削減）
5. その他 他の「ア」がとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	関連する大規模道路事業：東道武久保野線橋上高架橋（山口県）、長州出島大橋（国土交通省）他 関連性：長州出島（下関沖合人工島）へのアクセス道路として機能 下関市総合計画において広域交通連絡網としての整備と位置づけられている（平成19年3月、下関市）

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他別
一般国道191号	下関北バイパス	L=6.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
19,600～31,600	4	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	654億円	83億円	738億円
うち残事業分	118億円	72億円	190億円
基準年における 現在価値(C)	772億円	33億円	805億円
うち残事業分	111億円	29億円	139億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	50億円	8.8億円	5.1億円	64億円
基準年における 現在価値(B)	940億円	164億円	97億円	1,201億円
うち残事業分	927億円	160億円	94億円	1,180億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.5
経済的純現在価値(事業全体)	396億円
経済的内部収益率(事業全体)	5.6%
費用便益比(残事業)	8.5
経済的純現在価値(残事業)	1,041億円
経済的内部収益率(残事業)	44.2%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

[事業全体]

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	19,600~31,600	±10%	1.3~1.7
事業費	654億円	±10%	1.5~1.5
事業期間	25年	±20%	1.4~1.6

[残事業]

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	19,600~31,600	±10%	7.5~9.4
事業費	118億円	±10%	7.8~9.2
事業期間	2年	±20%	8.2~8.8

交通状況の変化

様式-3①

事業名: 下関北バイパス(事業全体)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 6.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	17,900	27,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	2	8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	6.52	37.95	
②主な 周辺道路 ^{※4}	現道(国道191号) : 6.1km	交通量	[台/日]	26,500	7,700
		走行時間	[分]	16	12
		走行時間費用	[億円/年]	75.06	16.15
	(主)下関長門線 : 2.7km	交通量	[台/日]	30,700	23,800
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	30.78	21.73
	(主)下関港線 : 3.4km	交通量	[台/日]	28,100	23,200
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	30.50	24.56
	国道2号 : 13.0km	交通量	[台/日]	44,500	43,800
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	226.26	221.05
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 339.4km	走行時間費用	[億円/年]	761.90	760.58	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 371.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,131.02	1,082.02	49.00

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

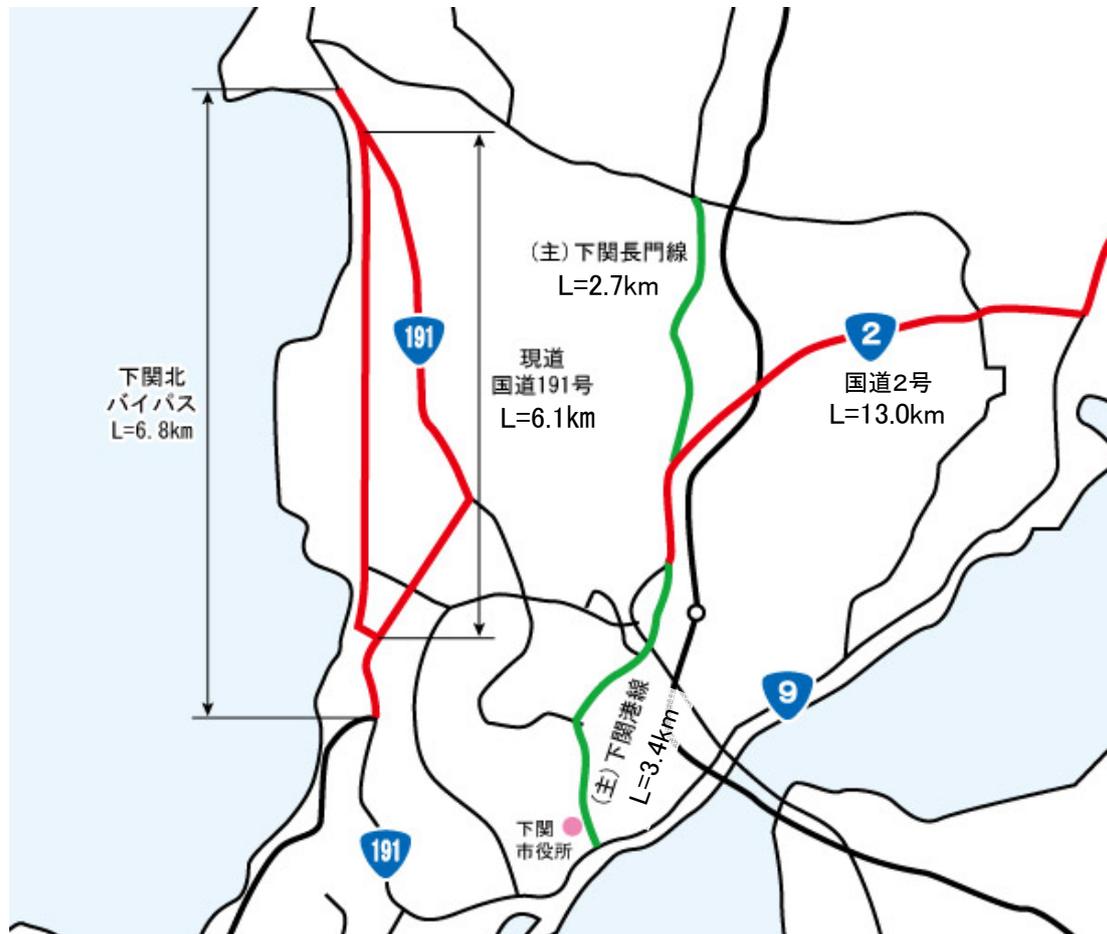
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名: 下関北バイパス(残事業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 6.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	10,400	27,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	3	8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	7.26	37.95	
②主な 周辺道路 ^{※4}	現道(国道191号) : 6.1km	交通量	[台/日]	26,400	7,700
		走行時間	[分]	16	12
		走行時間費用	[億円/年]	74.70	16.15
	(主)下関長門線 : 2.7km	交通量	[台/日]	30,500	23,800
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	30.56	21.73
	(主)下関港線 : 3.4km	交通量	[台/日]	27,800	23,200
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	30.17	24.56
	国道2号 : 13.0km	交通量	[台/日]	44,600	43,800
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	226.71	221.05
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計 : 339.4km	走行時間費用	[億円/年]	760.91	760.58	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 371.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,130.32	1,082.02	48.30

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

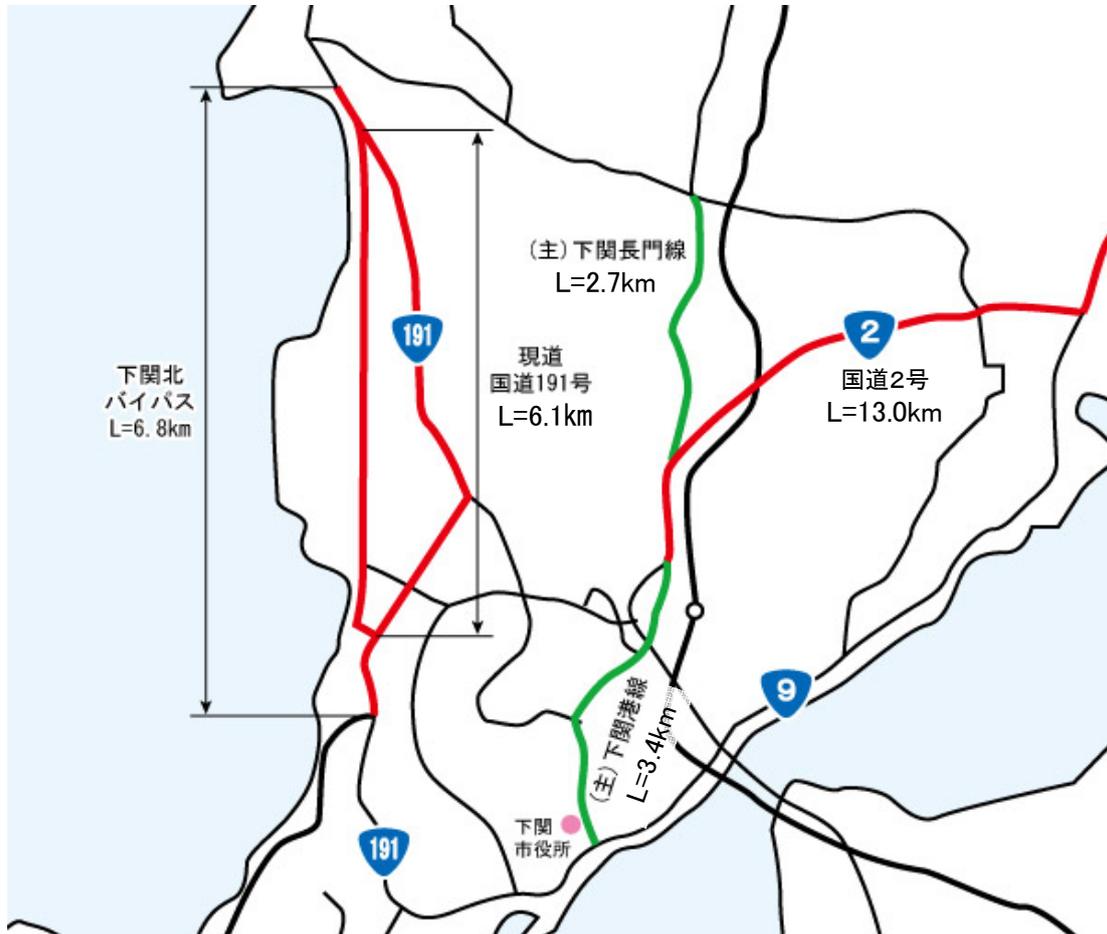
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：下関北バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	H24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		実績値に基づき維持管理費を算出	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

箇所名: 下関北バイパス(事業全体)		維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)					
		単価(億円)	延長(km)	単価(億円)		単価(億円)	
		0.26	6.8	1.75			
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価	現在	単価	現在
-25年目	H2	2.3699	106.5	0.19	0.40		
-24年目	H3	2.2788	109.1	0.49	0.96		
-23年目	H4	2.1911	110.6	0.49	0.91		
-22年目	H5	2.1068	110.9	8.98	16.00		
-21年目	H6	2.0258	110.8	1.65	2.83		
-20年目	H7	1.9479	109.9	11.72	19.48		
-19年目	H8	1.8730	109.5	11.64	18.68		
-18年目	H9	1.8009	110.4	9.25	14.15		
-17年目	H10	1.7317	109.9	19.88	29.38		
-16年目	H11	1.6651	108.4	43.29	62.37		
-15年目	H12	1.6010	107.2	47.73	66.87		
-14年目	H13	1.5395	105.7	23.02	31.45		
-13年目	H14	1.4802	103.8	48.77	65.24		
-12年目	H15	1.4233	102.3	32.01	41.77		
-11年目	H16	1.3686	101.0	31.14	39.58		
-10年目	H17	1.3159	99.6	32.19	39.89		
-9年目	H18	1.2653	98.7	32.47	39.05		
-8年目	H19	1.2167	97.6	43.77	51.18		
-7年目	H20	1.1699	96.8	32.55	36.90		
-6年目	H21	1.1249	95.6	22.48	24.81		
-5年目	H22	1.0816	93.8	22.61	24.45		
-4年目	H23	1.0400	93.8	29.28	30.45		
-3年目	H24	1.0000	93.8	30.71	30.71		
-2年目	H25	0.9615	93.8	46.00	44.23		
-1年目	H26	0.9246	93.8	71.97	66.54		
供用開始年次	H27	0.8890	93.8			1.67	1.48
1年目	H28	0.8548	93.8			1.67	1.42
2年目	H29	0.8219	93.8			1.67	1.37
3年目	H30	0.7903	93.8			1.67	1.32
4年目	H31	0.7599	93.8			1.67	1.27
5年目	H32	0.7307	93.8			1.67	1.22
6年目	H33	0.7026	93.8			1.67	1.17
7年目	H34	0.6756	93.8			1.67	1.13
8年目	H35	0.6496	93.8			1.67	1.08
9年目	H36	0.6246	93.8			1.67	1.04
10年目	H37	0.6006	93.8			1.67	1.00
11年目	H38	0.5775	93.8			1.67	0.96
12年目	H39	0.5553	93.8			1.67	0.93
13年目	H40	0.5339	93.8			1.67	0.89
14年目	H41	0.5134	93.8			1.67	0.86
15年目	H42	0.4936	93.8			1.67	0.82
16年目	H43	0.4746	93.8			1.67	0.79
17年目	H44	0.4564	93.8			1.67	0.76
18年目	H45	0.4388	93.8			1.67	0.73
19年目	H46	0.4220	93.8			1.67	0.70
20年目	H47	0.4057	93.8			1.67	0.68
21年目	H48	0.3901	93.8			1.67	0.65
22年目	H49	0.3751	93.8			1.67	0.63
23年目	H50	0.3607	93.8			1.67	0.60
24年目	H51	0.3468	93.8			1.67	0.58
25年目	H52	0.3335	93.8			1.67	0.56
26年目	H53	0.3207	93.8			1.67	0.53
27年目	H54	0.3083	93.8			1.67	0.51
28年目	H55	0.2965	93.8			1.67	0.49
29年目	H56	0.2851	93.8			1.67	0.48
30年目	H57	0.2741	93.8			1.67	0.46
31年目	H58	0.2636	93.8			1.67	0.44
32年目	H59	0.2534	93.8			1.67	0.42
33年目	H60	0.2437	93.8			1.67	0.41
34年目	H61	0.2343	93.8			1.67	0.39
35年目	H62	0.2253	93.8			1.67	0.38
36年目	H63	0.2166	93.8			1.67	0.36
37年目	H64	0.2083	93.8			1.67	0.35
38年目	H65	0.2003	93.8			1.67	0.33
39年目	H66	0.1926	93.8			1.67	0.32
40年目	H67	0.1852	93.8			1.67	0.31
41年目	H68	0.1780	93.8			1.67	0.30
42年目	H69	0.1712	93.8			1.67	0.29
43年目	H70	0.1646	93.8			1.67	0.27
44年目	H71	0.1583	93.8			1.67	0.26
45年目	H72	0.1522	93.8			1.67	0.25
46年目	H73	0.1463	93.8			1.67	0.24
47年目	H74	0.1407	93.8			1.67	0.23
48年目	H75	0.1353	93.8			1.67	0.23
49年目	H76	0.1301	93.8	-200.85	-26.13	1.67	0.22
合計				453.43	772.16	83.33	33.10
単純事業費計				654.28		83.33	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：下関北バイパス(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.26		5.8	1.52
-2年目	H25	0.9615	93.8	46.00	44.23		
-1年目	H26	0.9246	93.8	71.97	66.54		
供用開始年次	H27	0.8890	93.8			1.45	1.29
1年目	H28	0.8548	93.8			1.45	1.24
2年目	H29	0.8219	93.8			1.45	1.19
3年目	H30	0.7903	93.8			1.45	1.14
4年目	H31	0.7599	93.8			1.45	1.10
5年目	H32	0.7307	93.8			1.45	1.06
6年目	H33	0.7026	93.8			1.45	1.02
7年目	H34	0.6756	93.8			1.45	0.98
8年目	H35	0.6496	93.8			1.45	0.94
9年目	H36	0.6246	93.8			1.45	0.90
10年目	H37	0.6006	93.8			1.45	0.87
11年目	H38	0.5775	93.8			1.45	0.84
12年目	H39	0.5553	93.8			1.45	0.80
13年目	H40	0.5339	93.8			1.45	0.77
14年目	H41	0.5134	93.8			1.45	0.74
15年目	H42	0.4936	93.8			1.45	0.71
16年目	H43	0.4746	93.8			1.45	0.69
17年目	H44	0.4564	93.8			1.45	0.66
18年目	H45	0.4388	93.8			1.45	0.64
19年目	H46	0.4220	93.8			1.45	0.61
20年目	H47	0.4057	93.8			1.45	0.59
21年目	H48	0.3901	93.8			1.45	0.56
22年目	H49	0.3751	93.8			1.45	0.54
23年目	H50	0.3607	93.8			1.45	0.52
24年目	H51	0.3468	93.8			1.45	0.50
25年目	H52	0.3335	93.8			1.45	0.48
26年目	H53	0.3207	93.8			1.45	0.46
27年目	H54	0.3083	93.8			1.45	0.45
28年目	H55	0.2965	93.8			1.45	0.43
29年目	H56	0.2851	93.8			1.45	0.41
30年目	H57	0.2741	93.8			1.45	0.40
31年目	H58	0.2636	93.8			1.45	0.38
32年目	H59	0.2534	93.8			1.45	0.37
33年目	H60	0.2437	93.8			1.45	0.35
34年目	H61	0.2343	93.8			1.45	0.34
35年目	H62	0.2253	93.8			1.45	0.33
36年目	H63	0.2166	93.8			1.45	0.31
37年目	H64	0.2083	93.8			1.45	0.30
38年目	H65	0.2003	93.8			1.45	0.29
39年目	H66	0.1926	93.8			1.45	0.28
40年目	H67	0.1852	93.8			1.45	0.27
41年目	H68	0.1780	93.8			1.45	0.26
42年目	H69	0.1712	93.8			1.45	0.25
43年目	H70	0.1646	93.8			1.45	0.24
44年目	H71	0.1583	93.8			1.45	0.23
45年目	H72	0.1522	93.8			1.45	0.22
46年目	H73	0.1463	93.8			1.45	0.21
47年目	H74	0.1407	93.8			1.45	0.20
48年目	H75	0.1353	93.8			1.45	0.20
49年目	H76	0.1301	93.8	-1.41	-0.18	1.45	0.19
合計				116.56	110.59	72.38	28.75
単純事業費計				117.97		72.38	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：下関北バイパス（事業全体）

年次	年度 (標準年)	総走行台数の年次別伸び率 (山陽アロウ)			割引率 (A)	GDP デフレータ (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	①*(A)*(B)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	②*(A)*(B)		③	③*(A)*(B)
1.完成供用	H27	0.99624	0.99480	1.01304	0.99688	0.8890	93.8	38.85	7.30	4.28	50.43	44.84	7.19	0.87	0.72	8.78	7.81	4.55	64.33	57.19
1年目	H28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99688	0.8548	93.8	38.70	7.27	4.34	50.30	43.00	7.16	0.87	0.73	8.76	7.49	5.11	64.17	54.85
2年目	H29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99688	0.8219	93.8	38.56	7.23	4.39	50.18	41.24	7.14	0.86	0.74	8.74	7.18	5.10	64.01	52.61
3年目	H30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99688	0.7903	93.8	38.41	7.19	4.45	50.05	39.55	7.11	0.86	0.74	8.71	6.89	5.09	63.85	50.46
4年目	H31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99688	0.7599	93.8	38.26	7.15	4.50	49.92	37.93	7.08	0.85	0.75	8.69	6.60	5.09	63.69	48.40
5年目	H32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99687	0.7307	93.8	38.12	7.11	4.56	49.79	36.38	7.05	0.85	0.76	8.67	6.33	5.08	63.53	46.42
6年目	H33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.7026	93.8	38.01	7.07	4.63	49.71	34.92	7.03	0.85	0.78	8.65	6.08	5.08	63.44	44.57
7年目	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6756	93.8	37.90	7.03	4.70	49.63	33.53	7.01	0.84	0.79	8.64	5.84	5.08	63.35	42.80
8年目	H35	0.99712	0.99409	1.01532	0.99988	0.6496	93.8	37.79	6.99	4.77	49.55	32.19	6.99	0.84	0.80	8.63	5.60	5.08	63.26	41.09
9年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6246	93.8	37.68	6.95	4.85	49.47	30.90	6.97	0.83	0.81	8.62	5.38	5.08	63.16	39.45
10年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6006	93.8	37.57	6.91	4.92	49.39	29.66	6.95	0.83	0.82	8.60	5.17	5.08	63.07	37.88
11年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5775	93.8	37.46	6.86	4.99	49.32	28.48	6.93	0.82	0.84	8.59	4.96	5.08	62.98	36.37
12年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5553	93.8	37.35	6.82	5.06	49.24	27.34	6.91	0.82	0.85	8.58	4.76	5.08	62.89	34.92
13年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5339	93.8	37.24	6.78	5.13	49.16	26.25	6.89	0.81	0.86	8.56	4.57	5.07	62.80	33.53
14年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5134	93.8	37.14	6.74	5.21	49.08	25.20	6.87	0.81	0.87	8.55	4.39	5.07	62.70	32.19
15年目	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4936	93.8	37.03	6.70	5.28	49.00	24.19	6.85	0.80	0.88	8.54	4.21	5.07	62.61	30.91
16年目	H43	0.99707	0.99380	1.01365	0.99988	0.4746	93.8	36.92	6.65	5.35	48.92	23.10	6.83	0.79	0.89	8.53	4.03	5.04	62.50	29.62
17年目	H44	0.99706	0.99376	1.01346	0.99988	0.4564	93.8	36.81	6.61	5.42	48.84	22.07	6.81	0.78	0.89	8.52	3.84	5.01	62.39	28.20
18年目	H45	0.99705	0.99372	1.01327	0.99988	0.4388	93.8	36.70	6.56	5.50	48.76	21.08	6.79	0.77	0.89	8.51	3.67	4.99	62.28	26.84
19年目	H46	0.99704	0.99368	1.01308	0.99988	0.4220	93.8	36.59	6.51	5.58	48.68	20.13	6.77	0.76	0.89	8.50	3.51	4.96	62.17	25.73
20年目	H47	0.99703	0.99364	1.01289	0.99988	0.4057	93.8	36.48	6.47	5.66	48.60	19.22	6.75	0.75	0.89	8.49	3.35	4.93	62.06	24.57
21年目	H48	0.99702	0.99360	1.01270	0.99988	0.3901	93.8	36.37	6.42	5.74	48.52	18.36	6.73	0.74	0.89	8.48	3.20	4.90	61.95	23.46
22年目	H49	0.99701	0.99356	1.01251	0.99988	0.3751	93.8	36.26	6.37	5.82	48.44	17.53	6.71	0.73	0.89	8.47	3.05	4.87	61.84	22.41
23年目	H50	0.99700	0.99352	1.01232	0.99988	0.3607	93.8	36.15	6.33	5.90	48.36	16.74	6.69	0.72	0.89	8.46	2.91	4.84	61.73	21.40
24年目	H51	0.99699	0.99348	1.01213	0.99988	0.3468	93.8	36.04	6.28	5.98	48.28	15.98	6.67	0.71	0.89	8.45	2.78	4.81	61.62	20.43
25年目	H52	0.99698	0.99344	1.01194	0.99988	0.3335	93.8	35.93	6.23	6.06	48.20	15.26	6.65	0.70	0.89	8.44	2.66	4.78	61.51	19.51
26年目	H53	0.99697	0.99340	1.01175	0.99988	0.3207	93.8	35.82	6.19	6.14	48.12	14.57	6.63	0.69	0.89	8.43	2.54	4.75	61.40	18.63
27年目	H54	0.99696	0.99336	1.01156	0.99988	0.3083	93.8	35.71	6.14	6.22	48.04	13.91	6.61	0.68	0.89	8.42	2.42	4.72	61.29	17.78
28年目	H55	0.99695	0.99332	1.01137	0.99988	0.2965	93.8	35.60	6.10	6.30	47.96	13.28	6.59	0.67	0.89	8.41	2.31	4.69	61.18	16.98
29年目	H56	0.99694	0.99328	1.01118	0.99988	0.2851	93.8	35.49	6.05	6.38	47.88	12.67	6.57	0.66	0.89	8.40	2.21	4.66	61.07	16.21
30年目	H57	0.99693	0.99324	1.01099	0.99988	0.2741	93.8	35.38	6.00	6.46	47.80	12.10	6.55	0.65	0.89	8.39	2.11	4.63	60.96	15.47
31年目	H58	0.99692	0.99320	1.01080	0.99988	0.2636	93.8	35.27	5.96	6.54	47.72	11.55	6.53	0.64	0.89	8.38	2.01	4.60	60.85	14.77
32年目	H59	0.99691	0.99316	1.01061	0.99988	0.2534	93.8	35.16	5.91	6.62	47.64	11.02	6.51	0.63	0.89	8.37	1.92	4.58	60.74	14.10
33年目	H60	0.99690	0.99312	1.01042	0.99988	0.2437	93.8	35.05	5.86	6.70	47.56	10.50	6.49	0.62	0.89	8.36	1.83	4.55	60.63	13.45
34年目	H61	0.99689	0.99308	1.01023	0.99988	0.2343	93.8	34.94	5.82	6.78	47.48	10.04	6.47	0.61	0.89	8.35	1.75	4.52	60.52	12.84
35年目	H62	0.99688	0.99304	1.01004	0.99988	0.2253	93.8	34.83	5.77	6.86	47.40	9.58	6.45	0.60	0.89	8.34	1.67	4.49	60.41	12.25
36年目	H63	0.99687	0.99300	1.00985	0.99988	0.2166	93.8	34.72	5.72	6.94	47.32	9.14	6.43	0.59	0.89	8.33	1.59	4.46	60.30	11.69
37年目	H64	0.99686	0.99296	1.00966	0.99988	0.2083	93.8	34.61	5.68	7.02	47.24	8.72	6.41	0.58	0.89	8.32	1.52	4.43	60.19	11.16
38年目	H65	0.99685	0.99292	1.00947	0.99988	0.2003	93.8	34.50	5.63	7.10	47.16	8.32	6.39	0.57	0.89	8.31	1.45	4.40	60.08	10.65
39年目	H66	0.99684	0.99288	1.00928	0.99988	0.1926	93.8	34.39	5.58	7.18	47.08	7.94	6.37	0.56	0.89	8.30	1.38	4.37	59.97	10.16
40年目	H67	0.99683	0.99284	1.00909	0.99988	0.1852	93.8	34.28	5.54	7.26	47.00	7.57	6.35	0.55	0.89	8.29	1.32	4.34	59.86	9.69
41年目	H68	0.99682	0.99280	1.00890	0.99988	0.1780	93.8	34.17	5.49	7.34	46.92	7.22	6.33	0.54	0.89	8.28	1.26	4.31	59.75	9.24
42年目	H69	0.99681	0.99276	1.00871	0.99988	0.1712	93.8	34.06	5.45	7.42	46.84	6.89	6.31	0.53	0.89	8.27	1.20	4.28	59.64	8.82
43年目	H70	0.99680	0.99272	1.00852	0.99988	0.1646	93.8	33.95	5.40	7.50	46.76	6.57	6.29	0.52	0.89	8.26	1.14	4.25	59.53	8.41
44年目	H71	0.99679	0.99268	1.00833	0.99988	0.1582	93.8	33.84	5.36	7.58	46.68	6.27	6.27	0.51	0.89	8.25	1.09	4.22	59.42	8.02
45年目	H72	0.99678	0.99264	1.00814	0.99988	0.1523	93.8	33.73	5.31	7.66	46.60	5.98	6.25	0.50	0.89	8.24	1.04	4.19	59.31	7.65
46年目	H73	0.99677	0.99260	1.00795	0.99988	0.1463	93.8	33.62	5.26	7.74	46.52	5.70	6.23	0.49	0.89	8.23	0.99	4.17	59.20	7.30
47年目	H74	0.99676	0.99256	1.00776	0.99988	0.1407	93.8	33.51	5.21	7.82	46.44	5.43	6.21	0.48	0.89	8.22	0.94	4.14	59.09	6.96
48年目	H75	0.99675	0.99252	1.00757	0.99988	0.1353	93.8	33.40	5.16	7.90	46.36	5.18	6.19	0.47	0.89	8.21	0.89	4.11	58.98	6.64
49年目	H76	0.99674	0.99248	1.00738	0.99988	0.1301	93.8	33.29	5.11	7.98	46.28	4.94	6.17	0.46	0.89	8.20	0.86	4.08	58.87	6.33
合計								1695.70	312.24	259.14	2267.08	940.12	313.84	37.31	43.41	394.56	163.67	236.40	2698.04	1201.00

便益の現在価値算定表

箇所名：下関北バイパス(残事業)

年次	年度 (標準年)	総走行台数の年次別伸び率 (山陽アロウ)			割引率 (A)	GDP デフレータ (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		計 (億円)			
		乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①*(A)*(B)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計		現在価値 ②*(A)*(B)	③	現在価値 ③*(A)*(B)
1.完成供用	H27	0.99624	0.99480	1.01304	0.99688	0.8890	93.8	38.22	7.21	4.27	49.70	7.03	0.86	0.69	8.58	7.63	4.94	4.40	63.22	56.20
1年目	H28	0.99623	0.99477	1.01287	0.99688	0.8548	93.8	38.07	7.17	4.33	49.57	7.00	0.85	0.70	8.56	7.31	4.94	4.22	63.06	53.91
2年目	H29	0.99621	0.99475	1.01271	0.99688	0.8219	93.8	37.93	7.13	4.38	49.44	6.98	0.85	0.71	8.53	7.02	4.93	4.05	62.91	51.71
3年目	H30	0.99620	0.99472	1.01255	0.99688	0.7903	93.8	37.79	7.09	4.44	49.32	6.95	0.84	0.72	8.51	6.73	4.92	3.89	62.75	49.59
4年目	H31	0.99618	0.99469	1.01239	0.99688	0.7599	93.8	37.64	7.06	4.49	49.19	6.92	0.84	0.73	8.49	6.45	4.92	3.74	62.60	47.57
5年目	H32	0.99617	0.99466	1.01224	0.99687	0.7307	93.8	37.50	7.02	4.55	49.06	6.90	0.84	0.74	8.47	6.19	4.91	3.59	62.44	45.63
6年目	H33	0.99714	0.99416	1.01580	0.99988	0.7026	93.8	37.39	6.98	4.62	48.99	6.88	0.83	0.75	8.46	5.94	4.91	3.45	62.35	43.81
7年目	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6756	93.8	37.28	6.94	4.69	48.91	6.86	0.83	0.76	8.44	5.70	4.91	3.32	62.26	42.06
8年目	H35	0.99712	0.99409	1.01532	0.99988	0.6496	93.8	37.18	6.89	4.76	48.83	6.84	0.82	0.77	8.43	5.48	4.91	3.19	62.17	40.39
9年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6246	93.8	37.07	6.85	4.83	48.76	6.82	0.82	0.78	8.42	5.26	4.91	3.07	62.08	38.78
10年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6006	93.8	36.96	6.81	4.91	48.68	6.80	0.81	0.79	8.40	5.05	4.91	2.95	61.99	37.23
11年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5775	93.8	36.85	6.77	4.98	48.60	6.78	0.81	0.81	8.39	4.85	4.91	2.83	61.90	35.75
12年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5553	93.8	36.75	6.73	5.05	48.53	6.76	0.80	0.82	8.38	4.65	4.91	2.72	61.81	34.32
13年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5339	93.8	36.64	6.69	5.12	48.45	6.74	0.80	0.83	8.36	4.47	4.91	2.62	61.72	32.95
14年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5134	93.8	36.53	6.65	5.19	48.37	6.72	0.79	0.84	8.35	4.29	4.91	2.52	61.63	31.64
15年目	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4936	93.8	36.43	6.61	5.26	48.30	6.70	0.79	0.85	8.34	4.12	4.91	2.42	61.54	30.38
16年目	H43	0.99707	0.99380	1.01365	0.99988	0.4746	93.8	36.35	6.56	5.33	48.22	6.65	0.78	0.85	8.28	3.93	4.88	2.31	61.44	29.02
17年目	H44	0.99706	0.99376	1.01346	0.99988	0.4564	93.8	36.27	6.52	5.40	48.14	6.60	0.78	0.85	8.23	3.75	4.85	2.21	61.34	27.72
18年目	H45	0.99705	0.99372	1.01327	0.99988	0.4388	93.8	36.19	6.47	5.47	48.06	6.55	0.77	0.86	8.17	3.59	4.82	2.12	61.24	26.48
19年目	H46	0.99704	0.99368	1.01308	0.99988	0.4220	93.8	36.11	6.42	5.54	47.98	6.49	0.77	0.86	8.12	3.42	4.79	2.02	61.14	25.29
20年目	H47	0.99703	0.99364	1.01289	0.99988	0.4057	93.8	36.03	6.38	5.61	47.90	6.44	0.76	0.86	8.06	3.27	4.76	1.93	61.04	24.15
21年目	H48	0.99702	0.99360	1.01270	0.99988	0.3901	93.8	35.95	6.33	5.68	47.82	6.39	0.75	0.86	8.00	3.12	4.74	1.85	60.94	23.06
22年目	H49	0.99701	0.99356	1.01251	0.99988	0.3751	93.8	35.87	6.29	5.75	47.74	6.34	0.75	0.86	7.95	2.98	4.71	1.77	60.84	22.03
23年目	H50	0.99700	0.99352	1.01232	0.99988	0.3607	93.8	35.79	6.24	5.82	47.66	6.29	0.74	0.86	7.89	2.85	4.68	1.69	60.74	21.03
24年目	H51	0.99699	0.99348	1.01213	0.99988	0.3468	93.8	35.71	6.19	5.89	47.58	6.24	0.74	0.86	7.84	2.72	4.65	1.61	60.64	20.08
25年目	H52	0.99698	0.99344	1.01194	0.99988	0.3335	93.8	35.63	6.15	5.96	47.50	6.18	0.73	0.86	7.78	2.59	4.62	1.54	60.54	19.18
26年目	H53	0.99697	0.99340	1.01175	0.99988	0.3207	93.8	35.55	6.10	6.03	47.42	6.13	0.73	0.86	7.72	2.48	4.59	1.47	60.44	18.31
27年目	H54	0.99696	0.99336	1.01156	0.99988	0.3083	93.8	35.47	6.06	6.10	47.34	6.08	0.72	0.86	7.67	2.36	4.57	1.41	60.34	17.48
28年目	H55	0.99695	0.99332	1.01137	0.99988	0.2965	93.8	35.39	6.01	6.17	47.26	6.03	0.72	0.87	7.61	2.26	4.54	1.35	60.24	16.69
29年目	H56	0.99694	0.99328	1.01118	0.99988	0.2851	93.8	35.31	5.97	6.24	47.18	5.98	0.71	0.87	7.56	2.15	4.51	1.29	60.14	15.93
30年目	H57	0.99693	0.99324	1.01099	0.99988	0.2741	93.8	35.23	5.92	6.31	47.10	5.93	0.71	0.87	7.50	2.06	4.48	1.23	60.04	15.21
31年目	H58	0.99692	0.99320	1.01080	0.99988	0.2636	93.8	35.15	5.88	6.38	47.02	5.88	0.70	0.87	7.44	1.96	4.45	1.17	59.94	14.52
32年目	H59	0.99691	0.99316	1.01061	0.99988	0.2534	93.8	35.07	5.83	6.45	46.94	5.82	0.69	0.87	7.39	1.87	4.42	1.12	59.84	13.86
33年目	H60	0.99690	0.99312	1.01042	0.99988	0.2437	93.8	34.99	5.78	6.52	46.86	5.77	0.69	0.87	7.33	1.79	4.40	1.07	59.74	13.23
34年目	H61	0.99689	0.99308	1.01023	0.99988	0.2343	93.8	34.91	5.74	6.59	46.78	5.72	0.68	0.87	7.28	1.70	4.37	1.02	59.64	12.62
35年目	H62	0.99688	0.99304	1.01004	0.99988	0.2253	93.8	34.83	5.69	6.66	46.70	5.67	0.68	0.87	7.22	1.63	4.34	0.98	59.54	12.05
36年目	H63	0.99687	0.99300	1.00985	0.99988	0.2166	93.8	34.75	5.65	6.73	46.62	5.62	0.67	0.87	7.16	1.55	4.31	0.93	59.44	11.49
37年目	H64	0.99686	0.99296	1.00966	0.99988	0.2083	93.8	34.67	5.60	6.80	46.54	5.57	0.67	0.87	7.11	1.48	4.28	0.89	59.34	10.97
38年目	H65	0.99685	0.99292	1.00947	0.99988	0.2003	93.8	34.59	5.56	6.87	46.46	5.52	0.66	0.88	7.05	1.41	4.25	0.85	59.24	10.47
39年目	H66	0.99684	0.99288	1.00928	0.99988	0.1926	93.8	34.51	5.51	6.94	46.38	5.46	0.66	0.88	7.00	1.35	4.23	0.81	59.14	9.99
40年目	H67	0.99683	0.99284	1.00909	0.99988	0.1852	93.8	34.43	5.46	7.01	46.30	5.41	0.65	0.88	6.94	1.29	4.20	0.78	59.04	9.53
41年目	H68	0.99682	0.99280	1.00890	0.99988	0.1780	93.8	34.35	5.42	7.08	46.22	5.36	0.65	0.88	6.88	1.23	4.17	0.74	58.94	9.09
42年目	H69	0.99681	0.99276	1.00871	0.99988	0.1712	93.8	34.27	5.37	7.15	46.14	5.31	0.64	0.88	6.83	1.17	4.14	0.71	58.84	8.67
43年目	H70	0.99680	0.99272	1.00852	0.99988	0.1646	93.8	34.19	5.33	7.22	46.06	5.26	0.63	0.88	6.77	1.11	4.11	0.68	58.74	8.27
44年目	H71	0.99679	0.99268	1.00833	0.99988	0.1582	93.8	34.11	5.29	7.29	45.98	5.21	0.63	0.88	6.72	1.06	4.08	0.65	58.64	7.89
45年目	H72	0.99678	0.99264	1.00814	0.99988	0.1523	93.8	34.03	5.24	7.36	45.90	5.16	0.62	0.88	6.66	1.01	4.06	0.62	58.54	7.52
46年目	H73	0.99677	0.99260	1.00795	0.99988	0.1463	93.8	33.95	5.19	7.43	45.82	5.10	0.62	0.88	6.61	0.97	4.03	0.59	58.44	7.17
47年目	H74	0.99676	0.99256	1.00776	0.99988	0.1407	93.8	33.87	5.14	7.50	45.74	5.05	0.61	0.88	6.55	0.92	4.00	0.56	58.34	6.84
48年目	H75	0.99675	0.99252	1.00757	0.99988	0.1353	93.8	33.79	5.10	7.57	45.66	5.00	0.61	0.89	6.49	0.88	3.97	0.54	58.24	6.52
49年目	H76	0.99674	0.99248	1.00738	0.99988	0.1301	93.8	33.71	5.05	7.64	45.58	4.95	0.60	0.89	6.44	0.84	3.94	0.51	58.14	6.22
合計								1668.22	308.03	258.50	2234.75	928.60	306.82	41.87	385.37	159.87	228.58	94.00	2848.70	1180.48

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道191号	下関北バイパス	4/4	6.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	26,542	
	改良費		式	1	11,245	
		土工	m ³	1,787,930	3,015	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m ³	22,780	414	
		法面工	m ²	120,185	527	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,505	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁
		函渠工	式	1	5,784	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	11,183	
		100m以上	m	1,064	7,963	PC橋(4橋)、ME橋(2橋)
		100m未満	m	326	2,444	PC橋(7橋)
	トンネル費		式	—	—	
		NATM	m	—	—	
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	3,182	
		車道舗装	m ²	134,350	2,823	
		歩道舗装	m ²	74,597	359	
	附帯施設費		式	1	932	
交通管理施設工		式	1	932	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等	
遮音壁		m	—	—		
②用地及び補償費			式	1	33,664	
	用地費		式	1	20,085	
		宅地	m ²	337,514	20,085	
		田畑	m ²	—	—	
		山林・原野	m ²	—	—	
補償費		式	1	13,579		
③間接経費			式	1	6,794	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					67,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道191号	下関北バイパス	4/4	5.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	11,410	
	改良費		式	1	5,484	
		土工	m ³	10,000	655	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m ³	8,800	149	
		法面工	m ²	59,811	463	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	827	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁
		函渠工	式	1	3,390	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	3,111	
		100m以上	m	513	2,971	PC橋(4橋)、ME橋(2橋)
		100m未満	m	60	140	PC橋(3橋)
	トンネル費		式	—	—	
		NATM	m	—	—	
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	2,164	
		車道舗装	m ²	118,200	1,912	
		歩道舗装	m ²	54,260	252	
	附帯施設費		式	1	651	
交通管理施設工		式	1	651	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等	
遮音壁		m	—	—		
②用地及び補償費			式	1	740	
	用地費		式	1	141	
		宅地	m ²	3,445	141	
		田畑	m ²	—	—	
		山林・原野	m ²	—	—	
補償費		式	1	599		
③間接経費			式	1	200	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					12,350	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道191号	下関北バイパス	4	6.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.8	950	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,800	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			8,750	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道191号	下関北バイパス	4	5.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.8	800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,800	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			7,600	

一般国道191号 下関北バイパス
〔山口県への意見照会と回答〕

国中整企画第55号
国中整港計第11号
平成24年11月21日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成24年12月14日(金)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
小瀬川直轄河川改修事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 小月バイパス	継続	
一般国道191号 下関北バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成24年12月4日(火)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651



平24技術管理 第 487 号
平成24年(2012年) 12月 4日

中国地方整備局長 様

山口県知事 山本 繁太郎

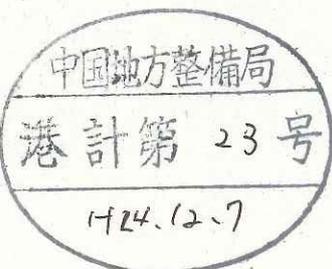


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成24年11月21日付け国中整企画第55号で意見照会がありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

事業名	小瀬川直轄河川改修事業
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見) ・早期完成に向け、コスト縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。 ・河川整備計画を早期に策定されるよう要望する。	
事業名	一般国道2号 小月バイパス
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見) ・平成28年度の供用に向け、コストの縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。	
事業名	一般国道191号 下関北バイパス
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見) ・平成26年度の供用に向け、コストの縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。	



担当
土木建築部技術管理課
企画班 田中 英樹
TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669